

エボラ出血熱



- ・ サハラ砂漠以南のアフリカ熱帯雨林地域で流行している、ウイルスによる発熱性出血熱を特徴とする感染症です。現在まで、アフリカ西部のコートジボワールとアフリカの中央部で発生しています。1995年にはコンゴ民主共和国で、2000年から2001年にはウガンダで、さらに2001年から2002年にはガボンとコンゴ民主共和国の国境地帯で大きな流行が報告されています。
- ・ これらの地域では、毎年のように流行が発生しています。また、スーダンやウガンダでも流行が発生しております。

○発生地域：

アフリカ(中央部～西部)。

○感染要因

：自然宿主はオオコウモリとされている。感染したサルなどの動物の血液、分泌物、排泄物、唾液などとの接触でも感染する可能性がある。エボラ出血熱患者に接触して感染する場合は最も多い(院内感染など)。また流行地域の洞窟に入ることは感染リスクの1つである。

○主な症状：

2～21日の潜伏期ののち、発熱、頭痛、下痢、筋肉痛、吐血、下血など。インフルエンザ、チフス、赤痢等と似た症状を示す。

○感染予防：

流行地への旅行を控える。野生動物との接触に注意する。洞窟に入らない。

海外では、動物と距離をとろう。

Please Keep Your Distance

※もっと詳しく知りたい方は

FORTH/厚生労働省検疫所「エボラ出血熱」

→<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name48.html>